

プラタナス

那須赤十字病院 広報誌

No.21

平成30年5月発行

Japanese Red Cross Nasu Hospital

 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

那須赤十字病院



副院長挨拶

副院長就任のご挨拶

特集チーム医療

褥瘡対策チーム

DMAT活動報告

平成29年度関東ブロックDMAT訓練が開催されました。

マイタウン・マイホスピタル

ミニニュース

お知らせ

後援会より
寄贈がありました



～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

を当院の基本理念として皆様に信頼されるより良い病院を目指して参ります。

副院長就任のご挨拶

那須赤十字病院 副院長 佐藤 隆



佐藤隆 副院長

地域とともに医療・看護を提供できるように

昨今の医療界を取り巻く環境は、少子高齢化による人口動態の変化が最大の要因となり、医療提供体制の大きな変革期をむかえております。栃木県北でもその傾向は顕著であり、がん患者さんの増加、生活習慣病に関連した脳血管や循環器など救急対応を必要とする疾患の増加に対応した医療、また治療後の介護や退院後支援などケアを中心とした医療など、社会の変化・地域でのニーズに応じた医療機関の役割はさらに大きく、重要性を増しており、その範囲は救急医療・がん診療・緩和医療・周産期診療・感染症対策など多岐にわたります。これらに対し最適・最善な医療を提供できるよう日々の研鑽・鍛錬が求められますが、院内外とも医師・看護師を含めたすべての職種とのチーム医療が大切となります。さらに地域の診療所や病院と連携しスムーズな病診連携をさらにすすめて、より最適・最善な医療・看護を提供できるように努力してまいります。

「来て良かった」と思える病院へ

このたび副院長になり担当することになった仕事のひとつに医療安全推進があります。高度な医療を求められる今日の医療においては、安全で最適な医療や看護が求められますが、反面、様々なリスクを伴うことも事実です。医学の進歩や病気の多様性および患者さんの意識の変化もあり、医療者側からみた最善・最適な医療と患者さん側からのそれとは食い違うことがあります。少しでも患者さんや家族に向きあって、お互いが納得できた診療を提供でき、医療側も安心して仕事をしていけますように医療安全の面からも、さらなる体制強化をすすめてまいります。と思います。

また院内各部門の事をもっと勉強させていただき、病院の改善に役立たせていただきたいと考えております。マイタウン・マイホスピタルは地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院にという当院の基本理念のもとに、皆さまに「来て良かった」と思える病院、「自分が病気になる時に診断・治療を受けたい病院」を目指して副院長の立場で精進・努力いたします。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

副院長に就任して

本年4月より副院長に就任いたしました佐藤と申します。旧大田原赤十字病院に赴任し新築移転後の那須赤十字病院を含めまして約10年間になります。消化器内科診療を主に勤務してまいりました。このたび出身地・大田原の赤十字病院副院長ということで、たいへん身の引き締まる思いでございます。皆様どうぞよろしくお願ひ致します。

チーム医療とは従来、医師が中心となった医療を、職種の異なる医療従事者が、お互いの専門性を発揮し、スムーズに連携していく、患者中心の医療です。医療従事者は、医師・看護師・薬剤師・理学療法士・作業療法士・社会福祉士・管理栄養士・検査技師・放射線技師・事務など多職種で構成され、対等の立場でお互いの意見を尊重し、個々の患者さんの状態に合わせた質の高い医療を提供します。当院のチーム医療は全部で10チームになります。第七回の今回は「褥瘡対策チーム」を紹介します。



褥瘡対策チーム

【褥瘡対策チームとは】

褥瘡とは、日本では一般的に「床ずれ」と呼ばれています。特に寝たきりや麻痺などで体位を変えられない人にできやすく、体の骨が突出している部分がベッドや布団などで擦れたり圧迫を受けたりすることによって皮膚や皮下組織が傷んでしまう疾患です。腰の仙骨という部分や足の踵などによく発生します。

褥瘡という疾患は、古くから知られていて5000年前のミイラからも確認されています。しかし、まだまだ疾患としての認識が低く、「床ずれ」として放置されてきた現状があります。治療を行うには、正しい処置や除圧、栄養管理あるいは薬物治療が必須です。そのため褥瘡対策チームでは、各職種の専門スタッフがそれぞれの視点で褥瘡治療に関わっています。さらに入院中に褥瘡が発生しないように専任チームとして、病棟スタッフやご家族様へ予防方法や情報提供などを行っています。

【構成人員】

医師4名（形成外科3名、外科1名）
皮膚・排泄ケア認定看護師1名
看護師3名
薬剤師1名
理学療法士1名
作業療法士1名
管理栄養士1名
臨床検査技師1名
事務職員4名
各病棟・手術室・外来担当看護師

【活動内容】

● 褥瘡チーム回診

週1回、各病棟へ褥瘡回診を行っています。実際に褥瘡がある患者様のベッドサイドへ行き、基礎疾患の病状や治療を確認したうえで褥瘡処置や外用薬などを提案しています。

褥瘡は短期間では治りづらく、治療経過で薬剤や被覆材（医療材料）などの使い分けをしなければなりません。その都度メンバーで意見を出し合っ、各々の患者さんの褥瘡にあった最適な治療を決定しています。

● 職員研修の開催

全職員を対象とした「褥瘡セミナー」を年4回開催しています。医師をはじめ、認定看護師による褥瘡マネジメント、薬剤師の薬物療法の考え方やポイント、リハビリスタッフの「ポジション」と呼ばれる褥瘡予防体位などを紹介して、褥瘡に関する様々な情報や知識を発信しています。

● 委員会の開催

2か月に一度、褥瘡対策委員会を開催して褥瘡がある患者様の有病数（率）、発生数（率）などを報告し情報を共有しています。そして、それぞれのケースについてさまざまな視点で意見交換を行い再発防止に取り組みしております。また、学会等に参加し最新の情報を把握し啓蒙に努めています。

（薬剤部 堀中）



事前に患者さんの状態を共有します。



チームスタッフ全員で治療にあたります。

平成29年度関東ブロック DMAT訓練が開催されました。

DMAT 活動報告

社会係長 青木 哲也

那須岳の噴火と栃木県全域における大規模地震の発生を想定し、関東ブロック7都県（栃木県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）による DMAT^(※1) 関東ブロック訓練が栃木県を舞台に初めて開催されました。県内 17 の医療機関の他、県内外に DMAT など計約 750 人が参加し、患者の治療や搬送などの連携をブラインド方式で実施しました。

当院も参集病院として参加、170 名の職員で約 70 名の患者受け入れを実施、事業計画 (BCP)^(※2) に基づく合同災害訓練を実施しました。トリアージエリア^(※3) での傷病者区分、各傷病者エリアでの治療の実施、ドクターヘリによる転送訓練も行いました。各隊はもちろん当院職員も本番さながらの訓練は有事の混乱を最小限に食い止め、関係機関との密接な連携と、患者受け入れの流れを再確認する良い機会となりました。

最後に、この様子をご覧いただければ、各団体、当院スタッフがどれほど心強い言葉は要らないでしょう。

那須赤十字病院での活動の様子



訓練前の机上訓練も実施しました。



トリアージエリアではトリアージタグを使用して傷病者の区分をしています。



他県のDMAT隊も訓練に参加し、治療にあたりました。



病院エントランスホールに設置された重症エリアの様子。



簡易ベッドをエントランスホールに設置し治療を行いました。



DMAT隊員の連絡調整は大切な任務です。

- ※1) DMAT 災害急性期に活動できる機動性をもったトレーニングを受けた医療チーム。医師、看護師、業務調整員で構成され、事故などの現場におおむね 48 時間以内に活動することになっています。
- ※2) 事業計画 (BCP) 災害などの緊急事態が発生した時に、企業が損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図る為の計画。
- ※3) トリアージエリア トリアージは多数の患者の重傷度や緊急度を判定・選別し治療の優先順位を決定する。

3月 院内防火訓練の実施

救急病棟/3月20日(火)

消防法に基づき、院内防火訓練が救急病棟で実施されました。

今回は、上の階へ延焼した想定で4階西病棟も避難する訓練も併せて実施、職員は自衛消防組織^(※1)により行動し、模擬患者の搬送、消火訓練を行いました。また、放水訓練も、真剣な面持ちで取りくみました。



患者搬送する救助班。

平成29年度ボランティア総会の開催

30名のボランティア会員の参加/3月22日(木)

ボランティアの皆さんをはじめ病院関係者が集まり、平成29年度の総会が開催されました。ボランティアの皆さんは、日々総合案内などで患者さんの案内、緩和ケア病棟での活動、理髪など様々な活動をしていただいています。総会終了後は救急法の講習の受講をして頂きました。これからもよろしくお願ひします。



ボランティア会員のみなさん。

4名の研修医が2年間の研修を修了

臨床研修修了式の挙行/3月22日(木)

当院マイタウンホールにて初期臨床研修医^(※2)の研修修了式が挙行されました。研修を修了した2年目研修医の池田織人研修医、大坪勇人研修医、大坪恭子研修医、玉井順子研修医です。

2年間本当に頑張りました。おめでとうございます。



研修頑張りました。おめでとうございます。

4月 新たな力が加わり新体制に

辞令交付式/4月2日(月)

今年度は新入職員90名が加わりました。当院の基本理念「マイタウン・マイホスピタル」を胸に秘め、患者さん・地域の皆様からの多様なニーズに応えられるよう頑張っていきます。

どうぞよろしくお願ひします。



がんばれ、フレッシューズ!

※1) 消防法に基づいて設置される人的組織。

※2) 医師法により、診療に従事しようとする医師は、大学病院または厚生労働省が指定する病院で2年間以上の臨床研修が義務となっている。

病院ホームページ バナー広告募集

病院ホームページのトップページに広告を掲載しています。

■掲載位置

- A: 全ページ左側の病院が指定する場所。
- B: 全ページ下部の病院が指定する場所。

■掲載寸法

A 枠: 縦70ピクセル×横220ピクセル
サイズ 30KB以内

形式 gif, jpg, png形式

B 枠: 縦70ピクセル×横230ピクセル
サイズ 30KB以内

形式 gif, jpg, png形式

■掲載期間

一ヶ月を単位とし、最長1年

■募集枠

A 枠: 3

B 枠: 4

■掲載料金

A: 15,000円/枠/月

B: 10,000円/枠/月

■申込み・問合せ

総務課広報係 ☎0287-23-1122(代表)

E-mail: nrchp@nasu.jrc.or.jp

ホームページアドレス: <http://www.nasu.jrc.or.jp/>



がんのつどい

2018/6/2 (土)	「医師との上手なコミュニケーション」医師 マイタウンホール1/3
2018/7/7 (土)	フリートーク 会議室1・2

インターンシップのご案内

平成 31 年度に就職する、看護師の方を対象にインターンシップを行っています。

看護師……平成30年5月2日(水)、7月25日(水)、8月1日(水)、
8月8日(水)、8月22日(水)、8月29日(水)

今月の表紙

那須赤十字病院後援会より、今年度は「患者ベッド
移乗用看護用具」の寄贈がありました。

現在の後援会の会員数は法人 147 団体、個人 219 名です。公的医療機関として病院が適正かつ円滑に運営されるようご支援いただいております。



編集後記

新年度が始まり1ヶ月がすぎました。いつまでも寒いと思っていたら5月になりました。

身体が季節についていくのがやっとです。(年のせい)

当院も地域に向け様々な情報を発信していきます。今年度もどうぞよろしく申し上げます。

総務課 秋元英輝

「プラタなす」に広告を掲載しませんか

病院広報誌「プラタなす」に掲載する有料広告を募集しています。

- 広告の大きさ 縦30mm×横95mm
- 掲載期間 1号単位(4回/年発行)
- 募集枠 最大4枠
- 掲載料金 20,000円/枠
- 掲載期間 発行号単位
- 申込み・問合せ

総務課広報係 ☎0287-23-1122(代表)

平成30年度会員募集について

日本赤十字社では、日本赤十字社の創立の月にあたる5月を中心に、毎年**赤十字会員増強運動**を全国一斉に行います。

赤十字会員増強運動とは、一人でも多くの方々に日本赤十字社の「会員」に加入していただき、赤十字の事業に参加していただくための運動で、皆様からご協力いただく資金(会費)によって、日本赤十字社は国の内外における災害活動を始め、血液事業や国際救援活動、社会福祉事業などの数々の人道的活動を円滑に行うことができます。

ご協力をお願いします。

○運動の期間 平成30年5月1日から5月31日まで(地域によって6月、7月になる場合もあります)

お問い合わせ 那須赤十字病院 社会課

日本赤十字社の会員とは

赤十字の目的や事業を理解いただき、毎年500円以上の資金(会費)を納めていただく個人、法人を指し、赤十字の基盤となっております。

「会員」は人種、国籍、信条、性別などによって差別されることなく、だれでも「会員」になることができます。

本誌へのご意見・ご感想をお聞かせください!

抽選で3名様に「CroKuma 救護服ぬいぐるみ」「CroKuma ナースぬいぐるみ」「赤十字マグカップ」をプレゼントいたします。

以下の項目を明記のうえ、郵送・FAX・メールにてご応募ください。

●応募先

郵 送 / 〒324-8686 大田原市中田原 1081-4

那須赤十字病院 総務課

プラタなす第21号 プレゼント係

F A X / 0287-23-3004

宛先「総務課 プラタなす第21号 プレゼント係」

メール / nrchp@nasu.jrc.or.jp

件名「プラタなす第21号 プレゼント係」

●応募締切り 2018年5月31日(木)

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

那須赤十字病院

基本理念

日本赤十字社

マイタウン・マイホスピタル

～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

基本方針

1. 赤十字基本原則に則り、地域のための医療を提供します。
2. 患者さんの立場を尊重し、患者さんに信頼される病院をつくります。
3. 日々の研鑽を惜みず、医療の質の向上に努めます。
4. 保健・医療・福祉施設との連携を密にし、地域医療の発展につくします。

プラタなす 那須赤十字病院広報誌プラタなす No.21

発行日 2018年5月

発行者 那須赤十字病院 〒324-8686 大田原市中田原1081番地4

TEL 0287-23-1122 FAX 0287-23-3004

URL <http://www.nasu.jrc.or.jp> 印刷 株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷